

碧南の今とこれから

問 生涯学習課 ☎42-3511

犬塚琉璃さん

山本愛子さん

岡本英二郎さん

山口嵐士さん

高山芽衣さん

今回はHEXPO STAFFの皆さんと、HEXPO STAFFの活動やその魅力について、そしてこれからの碧南市を若い人がどう考えているのか、などをテーマに市長と語っていただきました。内容を要約して紹介します。



△水遊び

市長…いつも子どもたちの学びの場、遊びの場を提供していただき、ありがとうございます！子どもはもちろん、子育てをするご家族からもヘキサポスタッフの存在は大変感謝されていると思います。
具体的にどのような活動をされているか教えてください。

高山…ヘキサポは、市内外問わずに準会員の高校生から会員の大学生、16〜22歳のメンバーで活動しており、現在50人程が在籍しています。年間6回のレクリエーションやお菓子作り、工作イベントを行う「プレイメイト」や夏には水遊び、冬には雪遊び、そして今年は3月にランタンフェスを初開催します。ほかにも碧南市を盛り上げるため、元氣ツス！へきなんに参加したり、二十歳を祝う会の実行委員となって活動するメンバーもいます。

岡本…高校、大学と市外に通うようになったのですが、育ててもらった故郷に恩返ししたいという思いから、父に相談したところ、ヘキサポを紹介されました。父もおやじの会で活動しており、地域貢献する姿に憧れていたことも始めたきっかけの一つです。

山本…友達からヘキサポのことを教えてもらったことがきっかけです。自分の明るい性格や企画力を磨きながら活かせるのは、これだ！と感じて始めました。アルバイトではできない、ヘキサポならではの経験ができ、今ではみんなの「楽しい！やってみたい！」というプラスの気持ちの着火剤のような存在になりたいという想いで活動を頑張っています。

ヘキサポを始めたきっかけ



△プレイメイトレクリエーション



△二十歳を祝う会

山口：中学生の頃に成人式のリハーサルを見させてもらって、とても感動しました。自分もやってみたい！という思いからヘキサポを知り、入りました。先輩や仲間の人々と過ごす時間が楽しくて、そして何となく自分たちが企画したものを子どもたちが「楽しい！」と言ってくれることや喜ぶ姿が見れるのが最高にうれしくて、今ではヘキサポのことばかり考えています。

市長：皆さん、とてもすてきですね！私も一番幸せを感じる瞬間は、みんなの喜ぶ姿を見ることだと思っています。若い時から人のために行動するという皆さんの活動は本当にすばらしいと感じます。



△プレイメイト お菓子作り

子どもとの関わり方で大切にしていること

高山：「子どもを楽しませる」ではなく「子どもと一緒にあって自分も全力で楽しむ」という思いでイベントに来ています。ヘキサポメンバーで集まること、そして子どもたちと遊ぶこと、どれをとっても楽しいこと尽くしです。

犬塚：自分も同じです！イベントの準備から「子どもたち、これできるかな？楽しんでくれるかな？」と想像しながら進めていくのも楽しくて！

高山：そうだよねー！どんなことも楽しく活動できるよねー！イベントでも誰が小学生か分からないくらい、ヘキサポメンバーも毎回大盛り上がりで（笑）みんなの笑顔を見るとまた頑張ろうと思えます。

ヘキサポの活動を通して感じられる自分の成長

山本：時間の使い方を考え直すようになりました。今までは自分のやりたいこと、やってみたいことのためにいるんな人の応援や協力をしてもらってきたけど、この活動は「自分のやりたいこと」誰かのために「なる」なので、時間の使い方がガラッと変わりました。「自分のため」から「子どものため」に変わったことであらゆる想定をするようになり、最初はそのギャップに苦労したけど、自分の成長につながったと感じています。

市長：私とその年齢のとき、こんな立派なことを考えられてなかったと思うので、感心しました！皆さんは、この経験を将来にどう役立てたいですか？



△雪遊び



△元気ッス！へきなん

山口：子どもとスポーツが好きなので、2つを掛け合わせた仕事をしたいと思っています。子どもが減ってきている今、スポーツができる子はすごく減ってきているように感じています。スポーツの魅力がたくさんの子どもたちにも知ってもらいたいです。

市長：すてきな考えだと思えます！ただ、まさに山口さんもおっしゃるように、そもそも碧南市では一昨年473人しか子どもが生まれておらず、昨年は12月までに300人程しか生まれていないんです。子ども自体が減っているのも現実です。

岡本：ということはその世代の二十歳を祝う会は今の半分くらいしかないということなんですね…すごくさみしく感じますね。

市長…そうなんです。今後さらに人口が減っていつてしまう可能性があります。

高山…碧南市から出て行ってしまった人も多いと思うので、碧南市を住み続けたいまちにする必要があるのかな？

市長…それはすごく大切なことだと思います。ここからは碧南市のお話しをしたいと思います。

碧南市の現状

市長…昨年9月24日に財政非常事態宣言というものを発出しました。碧南市は厳しい財政状況にあることを皆さんはご存じでしたか？

全員…知っていました。

市長…若い皆さん全員が知っていたのは驚きました。どこで知りましたか？

犬塚…家族との会話の中で知りました。碧南市はお金が無いって。

岡本…自分は碧南市のYouTubeで市長がお話しされている動画が流れてきて知りました。碧南市は豊かなイメージがあったので衝撃でした。

市長…そうですね。実際、今年度の税収は177億と碧南市はお金が無いわけではありません。ただ、今後増収は期待しづらいということ、そして支出がとても多いという問題に直面しています。

犬塚…そうだったんだ。誤解してました。市長に教えてもらったように正しい情報がちゃんと伝わるといいですね。

岡本…たくさんの人に伝えるには、やはりSNSはもってこいだと思いますし、市内小中学校、高校などにもお知らせをするなどの方法も効果があるかなと思いますね。

山本…具体的にはどこにお金がたくさんかかりますか？

これからの課題と 目指すべき碧南市のかたち

市長…まずは市民病院の赤字です。人件費や物価高騰の影響を強く受け、多くの費用がかかっている現状です。ほかに、碧南市は公共施設がたくさんあります。人口規模が近い市町村と比較しても、公共施設が多く、これらが老朽化を迎え、維持するだけでも費用が相当かかっています。



△明石公園



△海浜水族館

犬塚…市内に水族館もあって、遊園地（明石公園）もあって、碧南の魅力ではありつつ、恵まれているなと感じることもありました。

市長…このままの状況ですと、令和10年度で貯金が無くなってしまうと思います。今までのサービスや事業を見直し、早急な対応が必要です。そのために市民の皆さんに状況を伝え、意見をいただきながら理解を得て、一緒に市を変えていく仲間を増やしたいです。

山本…このまちが好き！という気持ちで原動力で、私たちと同じように活動している人たちがいるのだと思います。状況が変わっていく中で、どう対応できるか考えていく人がたくさんいると新しいこともできるようになると思っています。より絆の深い碧南を目指したいですね！

山口…碧南の人たちは本当にいい人ばかりなので、協力をあげば一緒に悩んでくれるし、盛り上げてくれると思います！厳しい状況でも碧南は楽しいことがたくさんあるってことを今後も増やせると良い方向に進められると思います！

市長…ヘキサポの皆さんをはじめ、たくさんの方を合わせてこの難局を乗り越えていきたいです！今回は若い皆さんとお話しする機会をただで大変うれしく思います。ぜひ今後も若い人の目線からのご意見やお力をお貸しください！

財政非常事態
宣言ホームページ
座談会の様子を
動画で紹介！



ヘキサポ スカイランタンフェス

碧南初のスカイランタンイベントを開催します！
キッチンカーやダンスのイベントもあります。
家族や友達とぜひ遊びに来てください！

時 3月7日(土) 14時～19時30分
(スカイランタン打ち上げ18時30分～)
所 臨海公園 (天候などによって文化会館)
協力 日本スカイランタン協会